

## チューターは支援者としてどのように成長していくのか

### ライティング支援者育成プログラムに関する実証研究

小林至道・中竹真依子（青山学院大学アカデミックライティングセンター）  
細口泰宏・田川真由・入江祐子・千原義春・西原麻里子（青山学院大学大学院）

#### ■プログラム掲載用の要旨

ライティング支援の専門家では必ずしもない大学院生が、どのようなプロセスを経て、一人前の立派なチューターとなっていくのか。本研究では、事前研修期間中のワークシート、チュートリアル実施後の支援履歴など、青山学院大学アカデミックライティングセンター（AWC）が蓄積する支援者育成プログラムに関するデータを質的アプローチから分析することによって、ライティング支援者としてのチューターの成長プロセスを実証的に明らかにすることを旨とする。それと同時に、ライティング支援者育成プログラムとしての有効性についても検討することを目的とする。

#### ■発表要旨

ライティング支援の専門家では必ずしもない大学院生が、どのようなプロセスを経て、一人前の立派なチューターとなっていくのか。本研究は、青山学院大学アカデミックライティングセンター（AWC）におけるチューター育成プログラムに関する質的データにもとづき、ライティング支援者としてのチューターの成長プロセスを描くのと同時に、同プログラム自体の有効性についても実証的に検討することを目的とする。

青山学院大学 AWC は、正課授業外において学術的な文章作成を支援する機関である。支援対象者は本学学士課程、大学院に在籍する学生で、日本語あるいは英語で書かれたレポート、論文などを支援対象物としている。その支援者となるチューターを、本学では大学院生が担うが、チューターとして支援を行うためには、書き手としてのライティングの知識や経験に加えて、「どのようにライティングを支援するのか」に関するそれ相応の専門性を身につける必要がある。

そのため、AWC では、青山キャンパスに新設された 2017 年 10 月から 2018 年 12 月現在にかけて、これまでのところ 4 期（2017 年 10 月～、2018 年 3 月～、同年 5 月～、同年 10 月～）にわたりチューター研修を実施してきている。ライティング支援者の育成を企図するこのプログラムにおいては、支援現場に入る前の研修期間中に課すテキストやワークシートばかりではなく、実際の利用者に対するチュートリアル後に支援内容として記録するチューター履歴、自身の実践を定期的に振り返るスタッフ間ミーティングの議事録、チューターを対象としたアンケート・インタビュー調査など、さまざまなデータを記録し、研究資料として蓄積してきている。

本研究では、こうした資料にみられる記述を対象に質的な分析を行うことを通して、ライティング支援者としてのチューターの変化のプロセスを描くとともに、同支援者育成のプログラムとしての有効性について検討することを目的とする。